

## 一般企業における『新情報システム学序説』説明会の開催

4月15日、企業向けにプロジェクトマネジメントの教育・コンサルを進めているL社において、『新情報システム学序説』の説明会を開催しました。

出席者は、情報システムの開発に直接携わったことがない方々がほとんどでしたが、「情報システム産業の親学問としての必要性、重要性が理解できた。情報や情報システムがこれほど汎用性をもつ幅広いものであったことに驚かされた。すっかり概念が変わった。文科系にもぴったりの内容だった」等、高い評価が得られ、また、さらに本格的に体系化を進めていくことが期待されました。

今回の『序説』説明の趣旨・内容は、3月の情報処理学会研究会における講演と共通で、アジェンダは、次のとおりです。

- 0. 新情報システム学体系化の目的と基本的な考え方
  - 0. 1 近代産業の一般的な発展プロセス
  - 0. 2 日本の国際競争力と情報システム産業
  - 0. 3 親学問の確立と教育体系整備の必要性
- 1. 情報とは何か
  - 1. 1 基礎情報学にもとづく情報概念
  - 1. 2 生命情報
  - 1. 3 社会情報
  - 1. 4 情報の基本的な取り扱い
    - ①情報の認識 ②推論 ③情報の発信
- 2. 人間の情報行動
  - 2. 1 人間の情報行動の起源
  - 2. 2 人間の情報行動の基本モデル
    - ①PDCAサイクル ②仮説実証法 ③推論との関係
- 3. 人間はどのように情報システムをつくってきたのか
  - 3. 1 情報システムの本質モデル
  - 3. 2 情報システムの進化
  - 3. 3 情報システム進化のための課題

以上